

授業科目 発達障害作業療法特論

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科	作業
永井 洋一		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	1	時間数	15
【＜概要＞又は＜一般目標：G I O＞】					
発達障害作業療法の臨床において用いられる頻度の高い理論とその技法について、概略を学ぶ					
【＜学習目標＞又は＜行動目標：S B O＞】					
1. 感覚統合理論の概略を説明することができる					
2. 感覚統合障害の概要について説明することができる					
3. 感覚統合療法の治療原理について説明できる					
4. 感覚統合障害の評価方法について概略を述べることができる					
回数	授業計画又は学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	感覚統合理論の歴史：Ayresから最近の研究者まで			1, 2, 3	講義
2	感覚統合理論の基礎概念			3, 4	＂
3	感覚統合の障害(1)登録と調整の障害			4, 5	＂
4	感覚統合の障害(2)：感覚系の障害			4, 5	＂
5	感覚統合療法の治療原理			3, 5	＂
6	感覚統合障害の評価方法(1)			6	講義・演習
7	＂ (2)			6	＂
【使用図書】		＜書名＞	＜著者名＞	＜発行所＞	＜発行年・価格・その他＞
教科書		感覚統合Q＆Aー子どもの理解と援助のために、永井／浜田編、協同医書出版社、1998、¥2,800			
参考書					
その他の資料		授業中に配布する			
【評価方法】			【履修上の留意点】		
出席：10%、課題：30%、レポート：60%					